|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 授業科目 | 臨床看護技術演習 | 単位数 | １単位 | 時間数 | 45時間（内30時間） |
| 担 当 者 | 中山　美加(臨床経験5年) | 学　年 | ２学年 | 開講年次 | ２学期 |
| 目的 | 実践に即した技術演習を通して、専門職としての責任感と倫理観を身につける。 |
| 科目目標 | 1. 複数患者の看護実践を通して優先順位・時間配分を判断することができる。
2. 状況に応じた対応および医療チームの連携の重要性が理解できる。
 |
| 回数 | 授業計画・内容 | 方法 |
| 1回2回3回4回5回6回7回8～9回10回11～12回13～14回15回 | １．複数患者への看護実践とは１）時間配分や優先度の考え方２）予期しない患者の反応への予測と対処方法の選択３）看護マネジメントにおけるチームメンバーとの連携・協働　４）患者の持つ権利と倫理観に基づいた看護実践２．複数患者への看護援助の時間配分や優先順位の判断３．複数患者への看護援助の時間配分や優先順位の判断４．複数患者の把握１）複数受け持ち患者（２事例）の全体像の把握５．複数患者の把握・看護実践の検討１）複数受け持ち患者（３事例）の全体像の把握２）複数受け持ち患者（３事例）の看護実践の検討６．複数患者の状況判断の検討１）複数受け持ち患者（３事例）の状況判断の検討７．複数患者の状況判断と看護実践の検討１）複数受け持ち患者（３事例）の状況判断と看護実践の検討８～９．複数患者の状況判断と看護実践の検討１）複数受け持ち患者（３事例）の状況判断と看護実践の検討１０．複数患者の状況判断と看護実践の検討１）複数受け持ち患者（３事例）の看護実践の検討１１～１２．受け持ち患者（３事例）の各事例における看護の実践１）受け持ち患者の状況判断と看護実践　１３～１４．複数患者への看護の実践１）複数受け持ち患者（３事例）の状況判断と看護実践　１５．複数患者への看護実践の振り返り　　　終了試験（45分） | 講義個人・グループワーク発表個人ワーク個人ワーク個人ワーク個人ワークグループワーク発表演習公開演習個人ワーク |
| 准看時授業内容 |  |
| 教科書参考書 | 教科書：『系統看護学講座　看護学概論　基礎看護学①』医学書院　　　 『系統看護学講座　基礎看護技術Ⅰ　基礎看護学②』医学書院『系統看護学講座　基礎看護技術Ⅱ　基礎看護学③』医学書院 |
| 評価方法 | 学習成果物、筆記試験 |
| 関連科目 | 診療に伴う技術、臨床微生物、医療安全、看護管理、看護倫理 |
| 備考 | 脳梗塞、慢性心不全、輸液療法、基本的な日常生活援助が学習できる準備をしてきて下さい。 |